



▼一般会計決算の状況

区 分	令和2年度	令和3年度
歳入	1930億9400万円	1667億8100万円
歳出	1896億1200万円	1627億4200万円
歳入歳出差引 A	34億8200万円	40億3900万円
翌年度繰越額 B	18億200万円	16億200万円
実質収支 A-B	16億8000万円	24億3700万円
単年度収支	2800万円	7億5700万円

※単年度収支は前年度実質収支との差額となります。

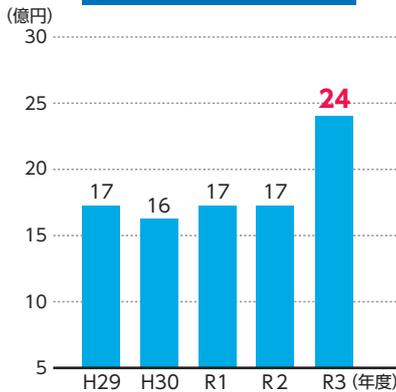
令和3年度決算速報値 実質収支は24億円の黒字

財政課 ☎ 841・1311、FAX 841・3039

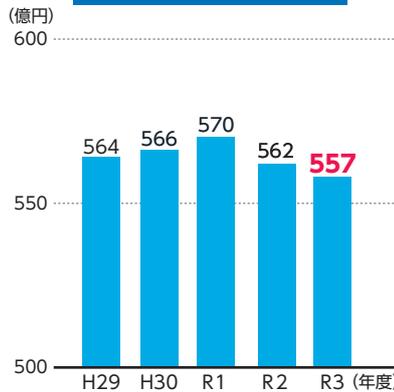
令和3年度一般会計の決算見込みがまとまりました。歳入・歳出とも令和2年度に実施した特別定額給付金(1人10万円)を令和3年度は実施しなかったことで減少となったものの、歳入の内訳では、地方交付税や地方消費税交付金が

増加し、歳出の内訳では、新型コロナウイルスワクチン接種関係経費や子育て世帯への臨時特別給付金などにより物件費や扶助費が増加しました。自治体の決算を表す実質収支は24億円の黒字で、単年度収支では7億円となりました。

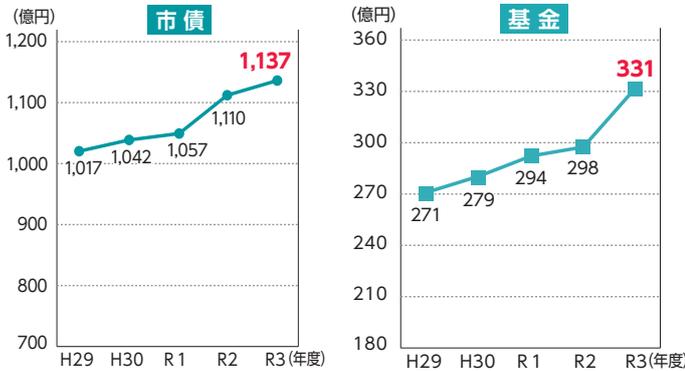
実質収支の推移



市税収入の推移

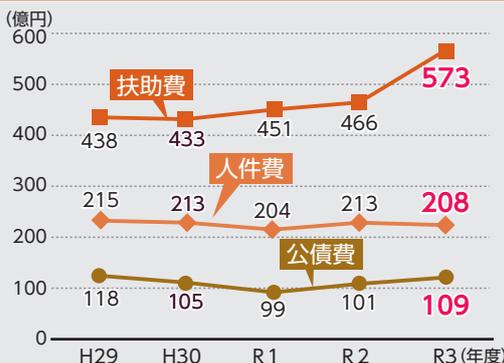


一般会計の市債・基金現在高の推移



市債残高は27億円の増加
市債とは、多額の経費が必要な建設事業の単年度の負担を軽減し、計画的な財政運営を行うために国や銀行等から借りるお金のことで、このほか、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債という借入金があります。
令和3年度末の市債現在高は、枚方市総合文化芸術センター整備事業などの新規借入れにより、前年度に比べて27億円の増加となりました。また、令和3年度末の基金現在高は33億円の増加となりました。

一般会計の人員費・扶助費・公債費の推移



経常収支比率の推移

財政の弾力性を示す財政指標。数値が低くなるほど自由に使えるお金が増えることを示しています。



※決算の詳細は広報ひらかた10月号でお知らせします。



▼選挙区・各候補者得票数

候補者名	党派	得票数(票)	
		枚方市	大阪府
当 高木 かおり	日本維新の会	4万490	86万2736
当 松川 るい	自由民主党	3万5470	72万5243
当 浅田 均	日本維新の会	2万9136	59万8021
当 石川 ひろたか	公明党	2万6748	58万6940
たつみ コータロー	日本共産党	1万4717	33万7467
石田 としたか	立憲民主党	1万2076	19万7975
大谷 ゆりこ	国民民主党	6006	10万3052
やはた 愛	れいわ新選組	4603	11万767
油谷 聖一郎	参政党	4069	9万7426
西谷 ヒサヨシ	維新政党・新風	2837	3万7088
吉田 ひろゆき	NHK党	1107	2万1663
数森 けいご	幸福実現党	508	8111
にしわき 京子	NHK党	499	1万3234
ほんだ かおり	日本第一党	498	9138
丸吉 たかふみ	NHK党	480	1万1220
ごとう よしひろ	新党くにもり	279	6217
たか山 純三朗	NHK党	246	7254
押越 清悦	目覚めよ日本党	104	2440

参議院議員通常選挙が7月10日に行われ、大阪府選挙区では高木かおり氏(日本維新の会)、松川るい氏(自由民主党)、浅田均氏(日本維新の会)、石川ひろたか氏(公明党)が当選しました。枚方市の当日有権者数は次の通り。▼**当日有権者数** 選挙区・比例代表ともに33万3300人。▼**投票者数** 選挙区で18万3799人、比例代表で18万3786人。▼**投票率** 選挙区で55・15%、比例代表で55・14%。選挙区・比例代表の枚方市での得票数は表の通り(小数点以下は切り捨て)。選挙区・比例代表ともに枚方市での得票数

▼比例代表・政党別得票数

政党名	得票数(票)	
	枚方市	全国
日本維新の会	6万9825	784万5995
自由民主党	3万5092	1825万6244
公明党	2万2963	618万1431
立憲民主党	1万4969	677万1913
日本共産党	1万1583	361万8342
国民民主党	7934	315万9657
れいわ新選組	5400	231万9156
参政党	4804	176万8385
NHK党	3316	125万3872
社会民主党	2168	125万8501
幸福実現党	490	14万8020
ごぼうの党	475	19万3724
日本第一党	320	10万9045
新党くにもり	206	7万7861
維新政党・新風	167	6万5107

参議院議員通常選挙 大阪府選挙区 高木、松川、浅田、石川各氏が当選

順に掲載。敬称略。

①選挙管理委員会事務局 ☎ 41・1532、☎ 844・3479

一時預かり無料リフレッシュ券を導入 在宅で子育て中の人に9月から

市は在宅で未就学児を育てている家庭の育児負担を軽減してもらおうと用事や息抜きなどを目的とした一時預かりを2日分無料で利用できるリフレッシュ券を9月から導入します。利用条件は保育所(園)などに入所していないおむね生後6カ月～3歳の誕生日前日の子どもで、1人につき1セット配布します。リフレッシュ券の利用は一時預かりを実施している

市内の私立保育所(園)などで母子健康手帳持参の上、事前登録が必要で、8月から配布を開始。慣らし保育など短時間での一時預かりを有料で利用した後に、リフレッシュ券を使用して無料で一時預かりを利用することもできます。実施園や利用時間など詳細は市ホームページ参照。 ②私立保育幼稚園課 ☎ 841・1471、☎ 841・4319

民間スイミング施設で水泳授業 専門指導で泳力向上 6小学校で開始

小学校の水泳授業で民間のスイミング施設を活用する取り組みが始まりました。5月24日の殿山第二小学校を皮切りに小学校6校で実施。専門スタッフの指導で泳力向上を図ると

同校の山本校長は「専門スタッフが指導してくれるので教員は児童の安全管理に専念できる」と話します。民間施設を利用するほか学校プールに民間スタッフを派遣する方法も採用。効果や課題を検証しながら、他の小学校でも進めていく予定です。

ともに教員の業務改善や老朽化した学校プールの施設の維持管理のコストダウンにもつなげます。



③教育政策課 ☎ 050・7105・8018 ☎ 851・1711、新しい学校推進室 ☎ 050・7105・8020 ☎ 851・1711

市内3施設の愛称決定

医療法人はじめ会ゆうき内科、枚方市書店商業協同組合、河本工業(株)とパートナー契約

7月14日、市は医療法人はじめ会ゆうき内科、枚方市書店商業協同組合、住宅の新築・リフォームなどを手掛ける河本工業(株)とネーミングライツ(命名権)契約を締結し、3施設の愛称が決まりました。岡本町1号横断歩道橋は「ゆうき内科 健康ウオーク 岡本町1号歩道橋」、中央図書館軽読書コーナーは「枚方市書店商業協同組合軽読書コーナー」、総合スポーツセンター総合体育館は「KTM河本工業総合体育館」になります。

☎ 財産管理課 ☎ 841・1347、FAX 841・3039



▲医療法人はじめ会ゆうき内科理事長の田中祐貴さん(写真左)と河本工業株式会社代表取締役の河本貢三さん(同右)



**KTM河本工業
総合体育館**
(ネーミングライツ料年額100万円)
【契約期間】
8月1日～令和9年3月31日



**枚方市書店商業協同組合
軽読書コーナー**
(ネーミングライツ料年額3万円)
【契約期間】
8月1日～令和9年3月31日



**ゆうき内科 健康ウオーク
岡本町1号歩道橋**
(ネーミングライツ料年額30万円)
【契約期間】
9月1日～令和9年3月31日

人権尊重のまちづくり基本計画を策定 多様化する人権問題に対応

人権問題が多様化・深刻化する中、市は6月、「枚方市人権尊重のまちづくり基本計画」を策定しました。より効果的・総合的に人権施策を推進し、市民意識の高揚や人権課題に対応していくことを目的としています。策定にあたっては市民意識調査の結果などを踏まえ、昨今課題となっているインターネットによる人権侵害や新型コロナウイルス感染症に関する差別などの内容を含めた分野ごとの人権問題の現状と課題、取り組みの方向性などを定めています。今

後は本計画に基づき、一人ひとりの市民が多様性を認め合い、人権が尊重され、平和に暮らすことができるまちづくりを進めます。計画期間は10年間で5年を中途に中間見直しを予定しています。同計画と概要版、市民意見聴取の結果報告書は市ホームページまたは市役所別館5階人権政策室、6階行政資料コーナーなどで8月中旬から閲覧できます。

※関連コラムは43ページに掲載。
☎ 人権政策室 ☎ 841・1259、FAX 841・1700

生理用品を無償配置 市庁舎トイレで実証実験

市は6月23日に株式会社ネクイノ(大阪市北区)と連携協定を締結し、市庁舎で生理用品を無償配置する実証実験を実施しています。利用者のスマートフォンに同社の専用アプリをダウンロード



とし、トイレ内の装置(写真上)と連動させることで生理用ナプキンを無料で受け取ることができま

す。身体的性差への理解促進と女性の負担軽減が目的で、今後は実証実験を通じて市庁舎などへの生理用品の効果的な配置方法を検討していきます。
☎ 人権政策室 ☎ 841・1424、FAX 841・1700



ひらかた万博キャッチコピー

「みんなで創ろう！この街の未来」に決定

市は2025年大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」と関連した市独自の事業やイベントなどを「ひらかた万博（HIRAKATA EXPO）」と称して取り組んでいます。これに合わせ6月にキャッチコピーを募集。応募の中から「みんなで創ろう！この街の未来」が市民などによる投票で選ばれました。キャッチコピーには「未来の枚方」をより良い街にするため、枚方に関わ

るみんなが共に考え、行動し、創っていきけるように」との思いが込められており、今後は「ひらかた万博」の取り組みをキャッチコピーとともに情報発信していきます。「ひらかた万博」のイメージムービー（下記コード）も公開中。



問 政策推進課 ☎ 841・1149、FAX 841・3039

9月30日まで 節電にご協力を

今夏の関西エリアの電力は安定供給に最低限必要な予備率3%を上回る見通しですが、海外情勢によっては燃料調達リスクが高まることも予想されています。

家庭や職場では、熱中症に注意しながら無理のない範囲で節電にご協力をお願いします。

※特に太陽光発電の出力が減少する午後5時～8時頃。

無理なく 家庭でできる主な節電・省エネ



エアコン

- ・冷やしすぎに注意
- ・フィルターの清掃



冷蔵庫

- ・温度設定は「強」から「中」に
- ・開閉時間を短く



照明

- ・不要な照明は消す
- ・明るさを調整

他にも

- ・TVを省エネモードに
- ・コンセントを抜いて待機電力を削減

など

環境政策課

☎ 050・7102・6006、FAX 849・1206

伏見市長の情熱日記



魅力的な地域資源を活かして

カヌー・カヤック、スラックライン、プチパラグライダーなど、街中ではなかなか体験できないイベント「よどがわアクティビティくらわんか」が、淀川河川敷で9月に開催されます。5月にも開催され、私も視察に行きましたが、どのアクティビティも予約がいっぱいで会場は笑顔であふれていました。

淀川は市民にとって大変身近な存在で、河川敷はこれまでも私たちに癒しや活力を与えてくれる貴重な場でしたが、今回の民間事業者との協働による事業で淀川の新たな魅力に気付くことができ、市民のまちへの愛着がさらに深まる

良い取り組みだと感じました。本市では、市制施行75周年を迎える今年度を、2025年の大阪・関西万博に向けた本格稼働の年と位置づけ、「ひらかた万博（HIRAKATA EXPO）」と称した、市独自の取り組みを進めます。

市内全体を「枚方パビリオン」に見立て、市民、事業者、市民団体、大学等との多様な主体とのパートナーシップにより、淀川をはじめ市内各地の自然、歴史、文化など魅力的な資源を掘り起こし、また企業の技術にスポットライトを当てるなど、市民のまちへの愛着の向上や地域経済の活性化につなげていきます。

6月定例会

工事請負契約締結議案や人事案件などが可決

令和4年6月定例会月議会は6月24日に終了しました（6月10日の審議結果は7月号に掲載）。21日の本会議では、公平委員会委員に平松正幸氏を選任することに同意がありました。24日の本会議では、牧野長尾線や長尾杉線に係る道路整備工事請負契約締結議案が可決されました。ま

た、「環境教育の充実及びカーボンプリントラルの達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書」など5件の意見書が可決されたほか、人権擁護委員候補者の推薦について岡澤静晃氏が適任とされました。

問 市議会事務局議事調査課 ☎ 841・1528、FAX 841・0240